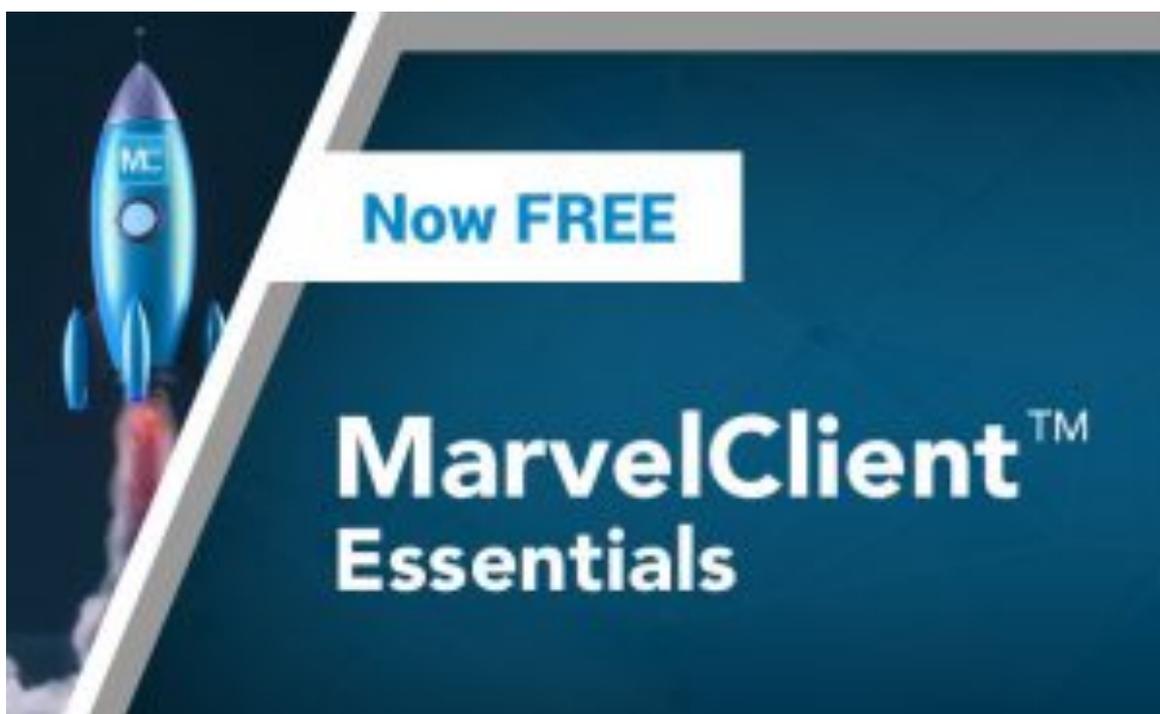


ノートコンソーシアムオープンセミナー 2018

MarvelClient Essentials ハンズオン資料

資料作成：ケートリック株式会社



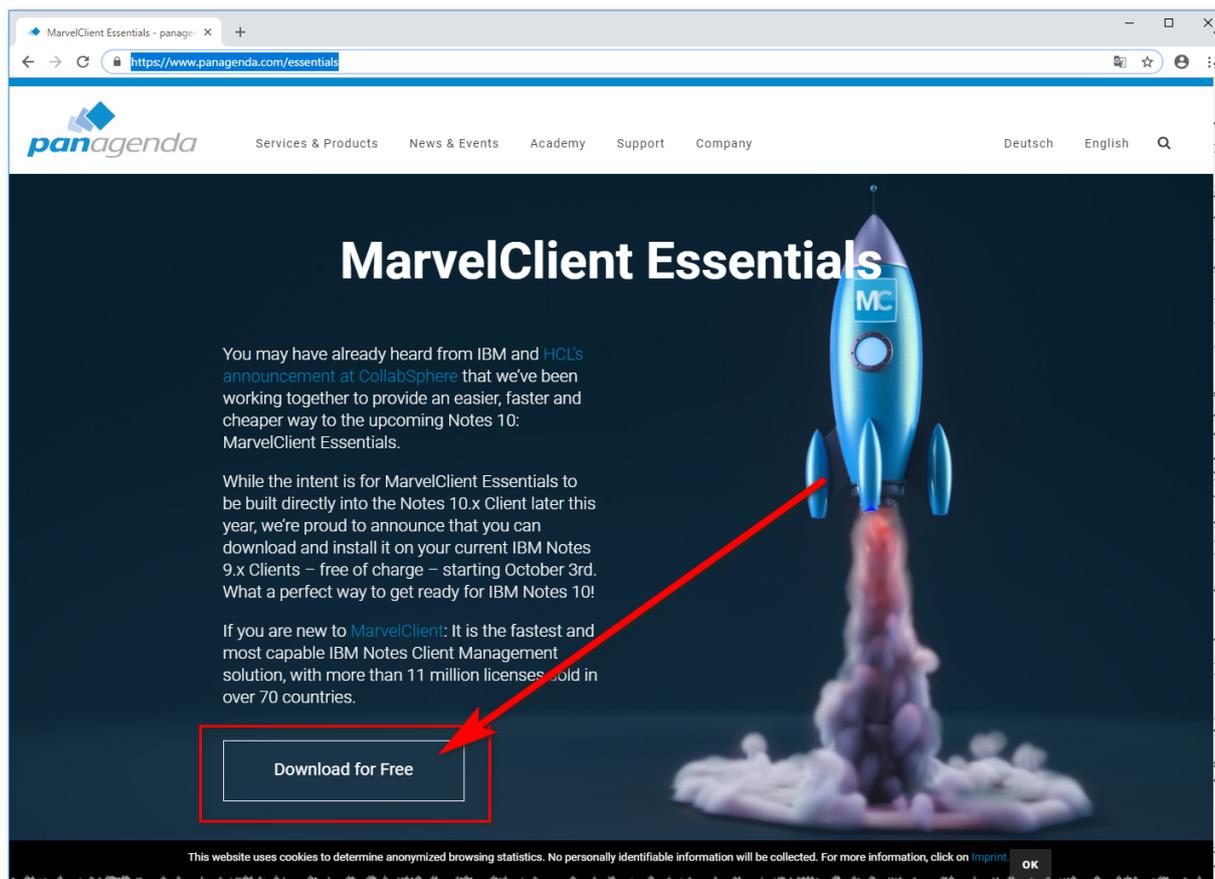
MarvelClient Essentials とは

MarvelClient は全世界に 1,100 万ユーザーが使用する panagenda 社のノートクライアントの管理ツールです。ユーザーの手を介することなく、ノートクライアントのプリファレンスや notes.ini の内容を自由に変更できる管理者向けのツールで、クライアント情報の集中管理機能を提供します。Notes/Domino 10 の発表と先立ち、2018 年 10 月 3 日に、MarvelClient の基本的な機能を MarvelClient Essentials として無償で提供が開始されました。同時に、Notes/Domino 10.0.1 (2018 年 12 月リリース予定)では、Notes/Domino の標準機能として搭載される予定です。

MarvelClient Essentials (以降「MCE」)のダウンロード

ここでご紹介するダウンロードファイルについては、ハンズオンのマシンに用意されているはずですが、参加者の皆さんが、後日ご自身の会社の環境で同様に試していただくため、ダウンロードのプロセスをご説明します。ハンズオンに参加される皆様には必ず登録をお願いします。

<https://www.panagenda.com/essentials> へのアクセス



- 上記のアドレスにアクセスし、「Download for Free」のボタンを押します。

The screenshot shows a registration form on the panagenda website. The form is titled "MarvelClient Essentials" and includes the following fields: First Name *, Last Name *, Business Email *, and Your Message (optional). A checkbox labeled "I agree with the processing and storage of my data based on panagenda's privacy policy." is checked. A blue SUBMIT button is located at the bottom of the form. A CLOSE button is visible in the top right corner of the form area.

- 名前とメールアドレス、Privacy Policy にチェックをし「Submit」ボタンを押します。入力したメールアドレスに案内が送信されますので、メール中のダウンロード用のリンクを開きます。

Your request on www.panagenda.com

panagenda 宛先 自分
sales@panagenda.com に返信してください

Hello [REDACTED],

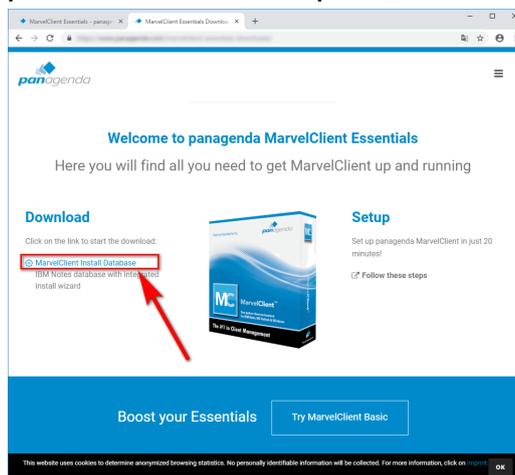
Thank you very much for your interest in panagenda! [Click here to download MarvelClient Essentials.](#)

Sincerely,
Your panagenda Team

Email: website@panagenda.com - Web: www.panagenda.com
Phone: +43 1 890 12 89-0 - Fax: +43 1 890 12 89-15

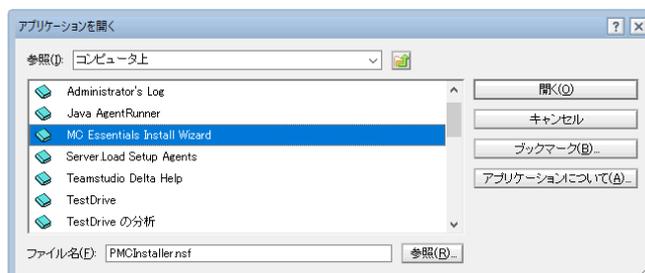


- 下の画面よりダウンロードを開始してください。ダウンロードのファイルは「pmc_installer.zip」で解凍したファイルは「pmc_installer.nsf」です。

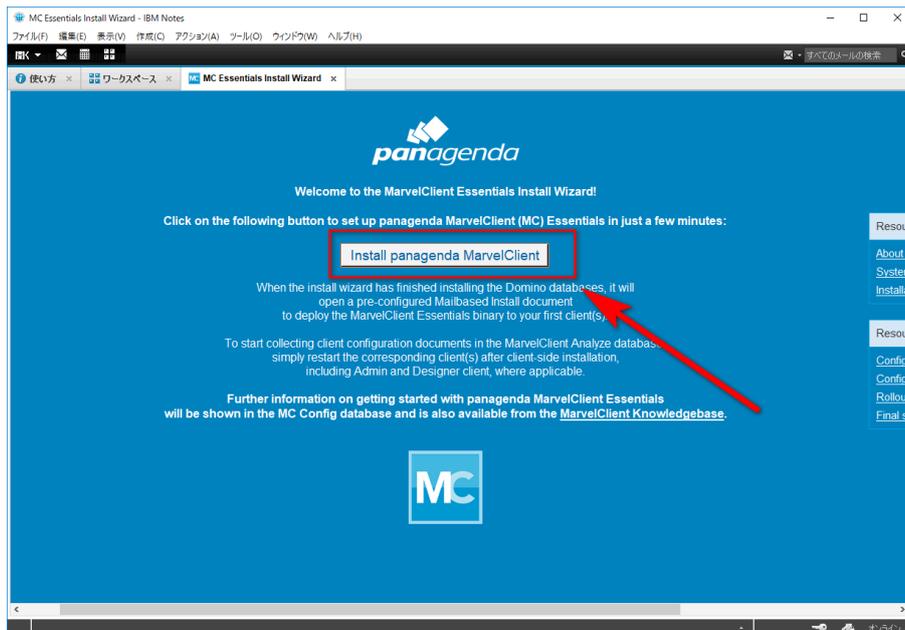


MCE のインストール

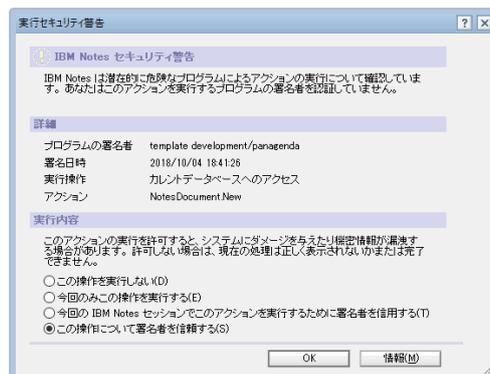
「pmc_install.nsf」をノートデータフォルダーにコピーし、ノートクライアントから開きます。



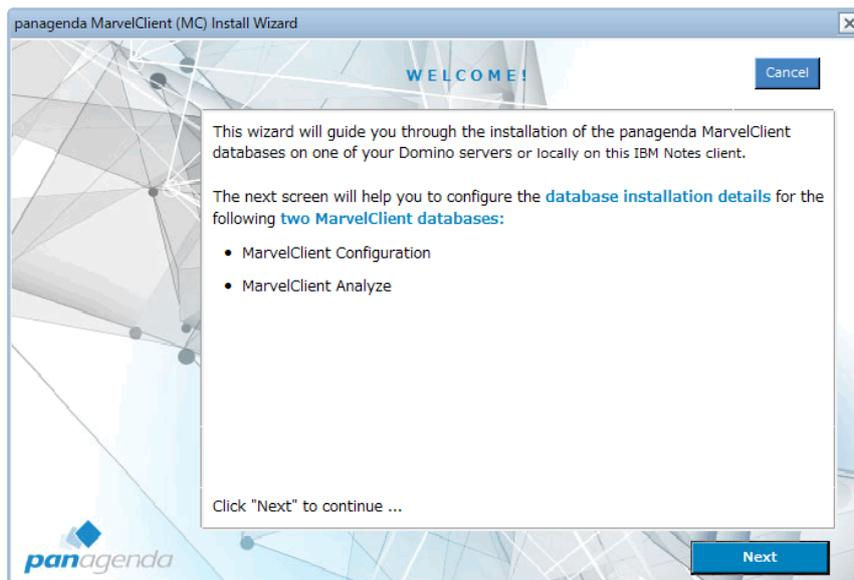
「MC Essentials Install Wizard」データベースを開き、「Install panagenda MarvelClient」のボタンをクリックし、インストールを開始します。



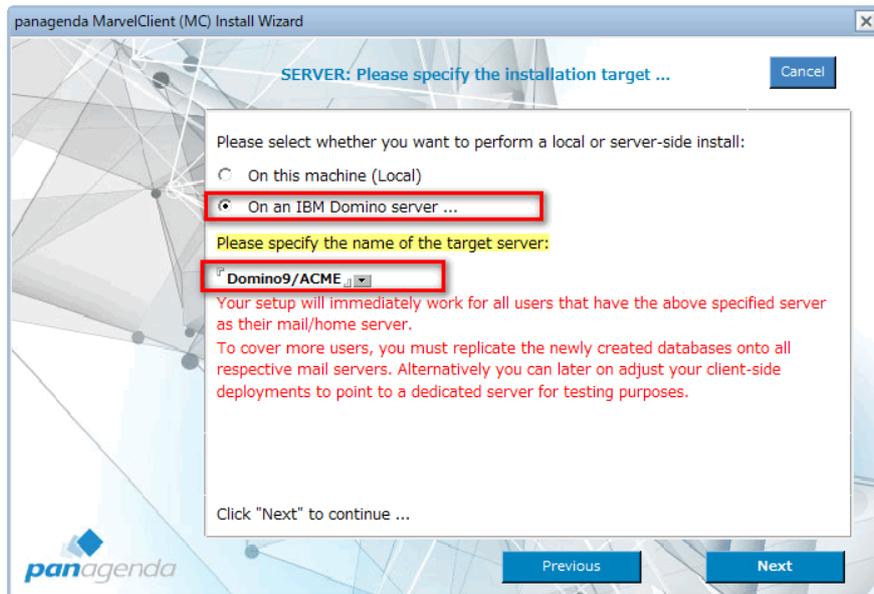
途中、実行セキュリティ警告のダイアログが出ますが、「この操作について署名者を信頼する」を選択し、前に進んでください。



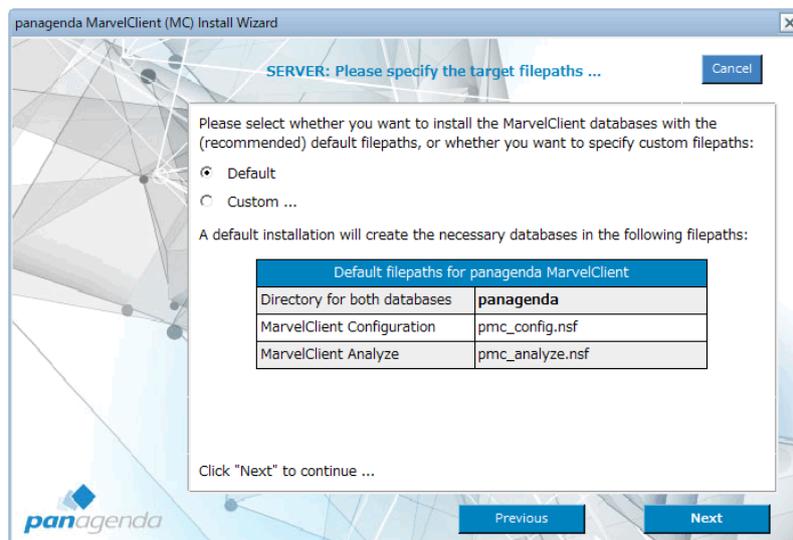
下のスクリーンが表示されたら、「Next」をクリック



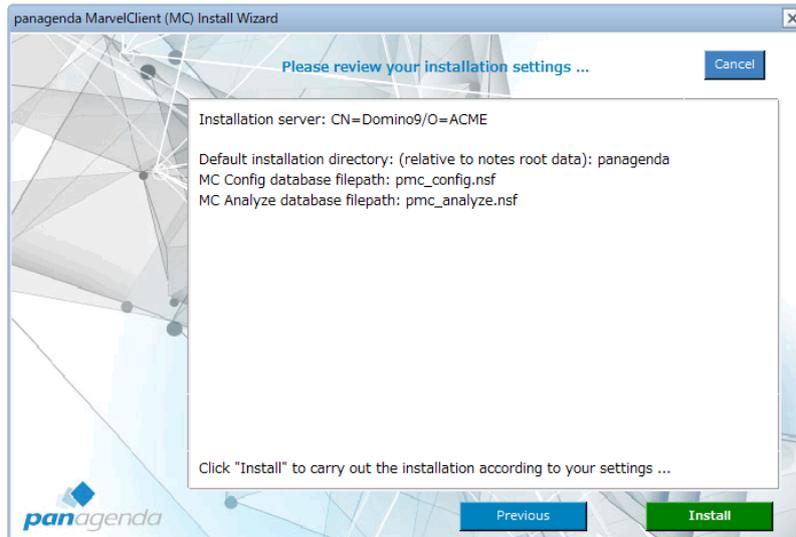
下のスクリーンでは MarvelClient の 2 つのデータベース(MC Config と MC Analyze)の作成を行います。ドミノサーバーへ作成する必要がありますので「On an IBM Domino Server」を選択し、ハンズオンのマシンにインストールされているドミノサーバーの名前を指定してください。



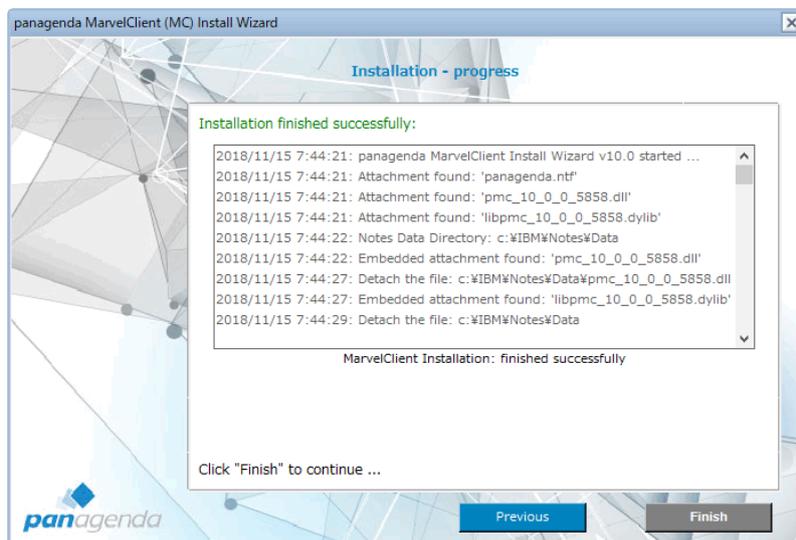
途中上記のようなセキュリティ警告が出た場合は「OK」を押して進めてください。次にふたつの MC データベースをどのフォルダーに作成するかの指定をする画面が出ますが、デフォルトのまま進めます。



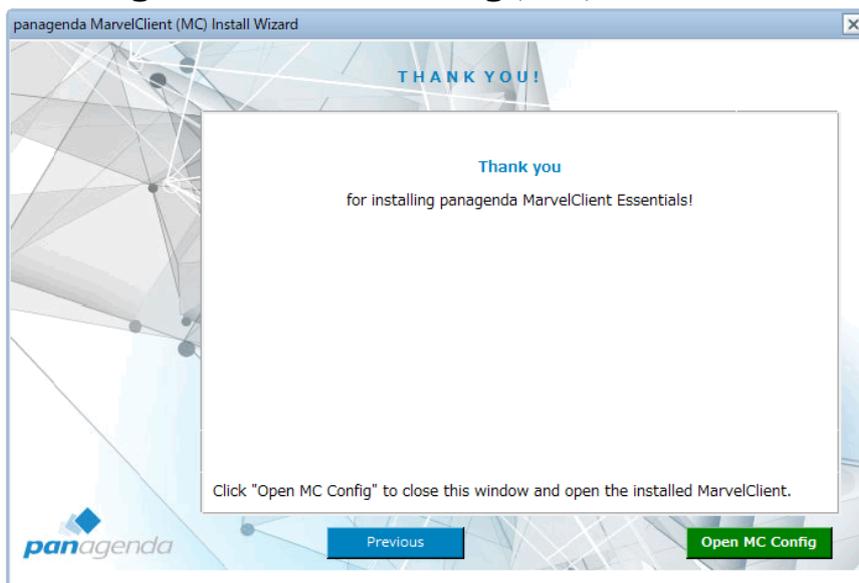
この画面で「Install」ボタンを押し、インストールを開始します。



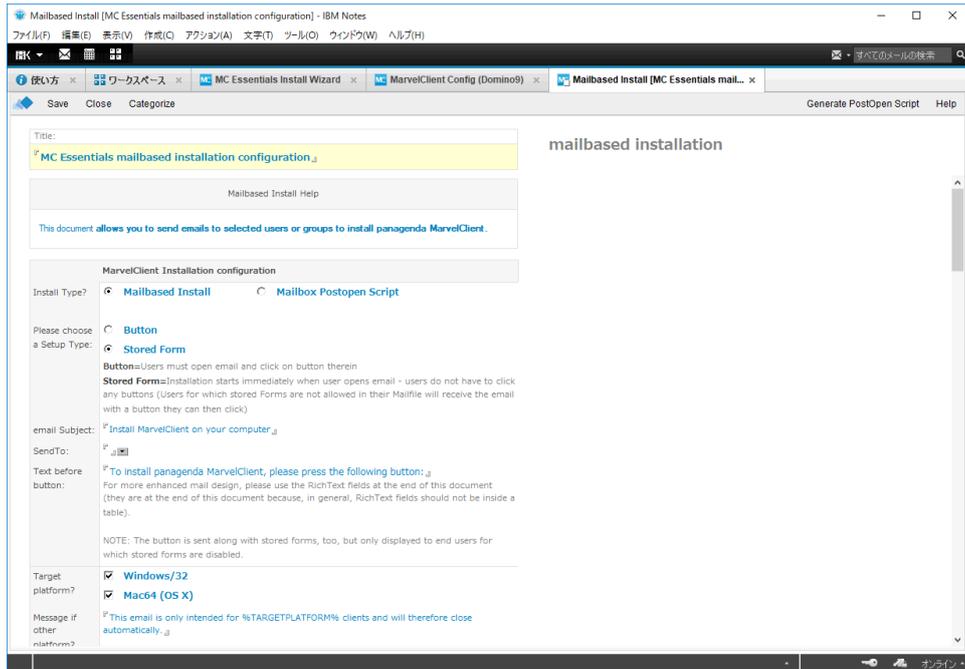
インストールが完了するとこの画面が表示されます。「Finish」ボタンをクリックしてください。



次に「Open MC Config」ボタンを押し、MC Config (設定)データベースを開きます。



次の画面が表示されますが、この画面はそのまま閉じてください。

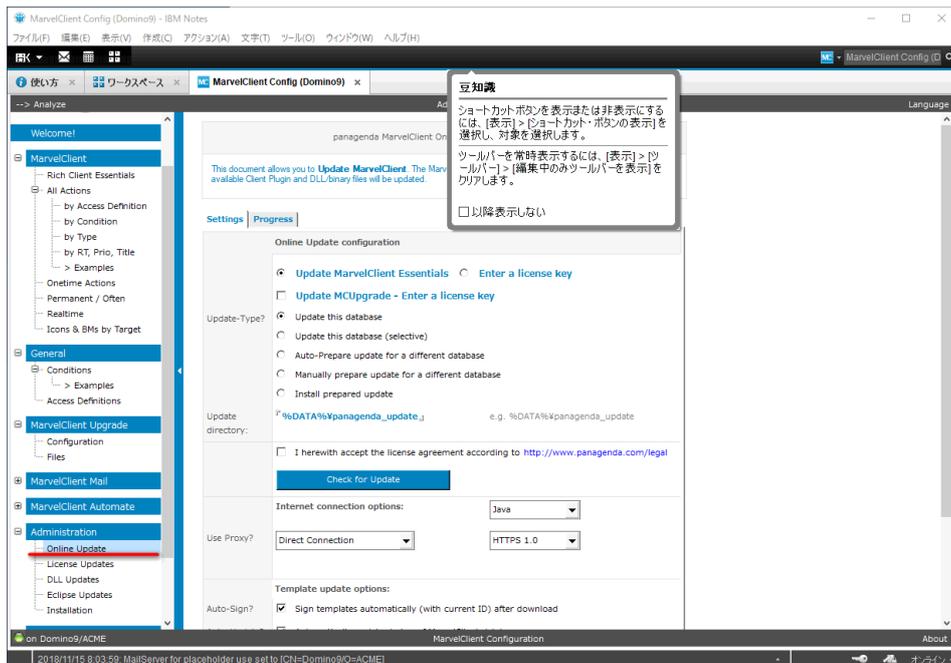


この時点で、ドミノサーバーに MC Config と MC Analyze のふたつのデータベースが作成されました。次に行っていただくことは、このふたつのデータベースに対して管理者 ID かサーバーID で署名をする必要があります。これは、まずはスケジュールエージェントによって情報の更新を行う必要があるためです。ハンズオンでは管理者 ID で作業をしているはずですので、その必要はありません（インストール時に現在の ID で署名されているはず）が、後日ご自身の環境で試される場合は、必ず必要な ID で署名をしてください。

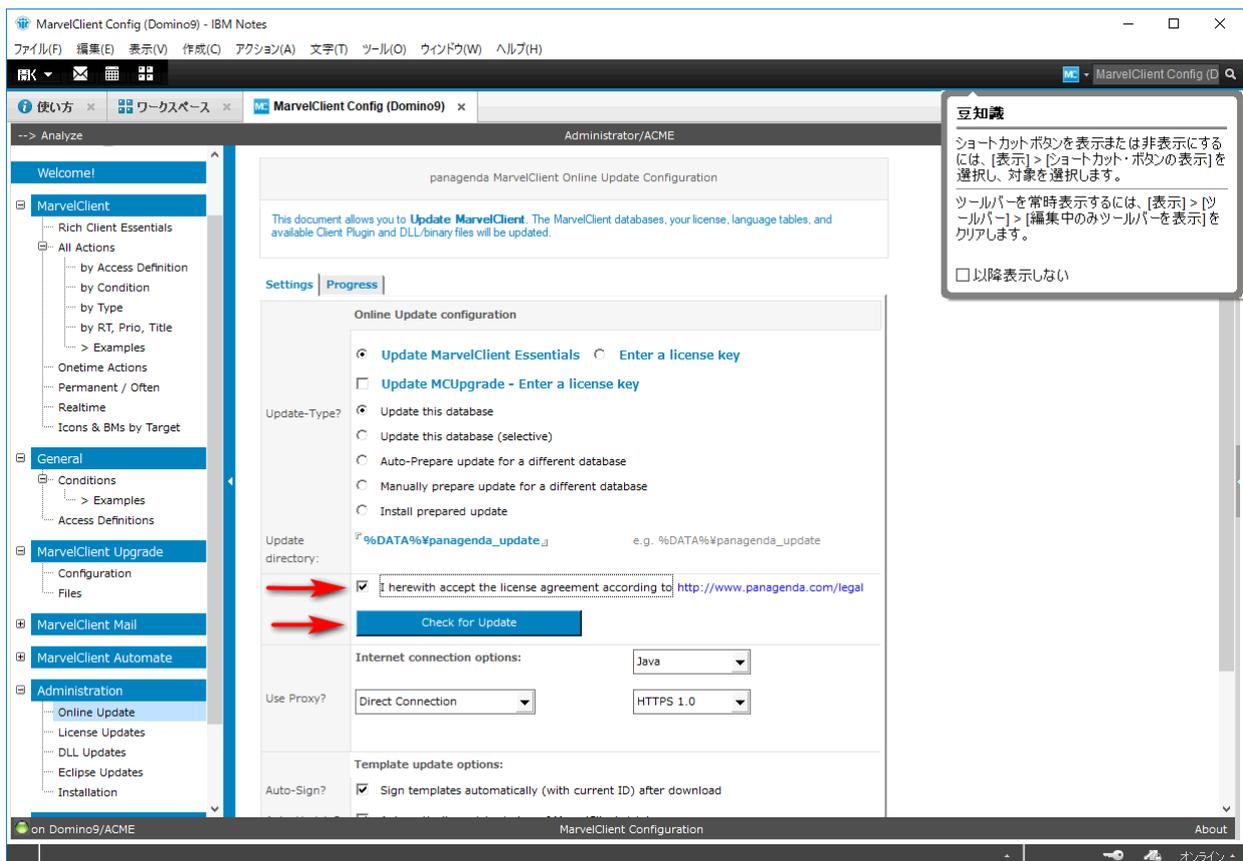
Online Update (オンライン更新)の実施

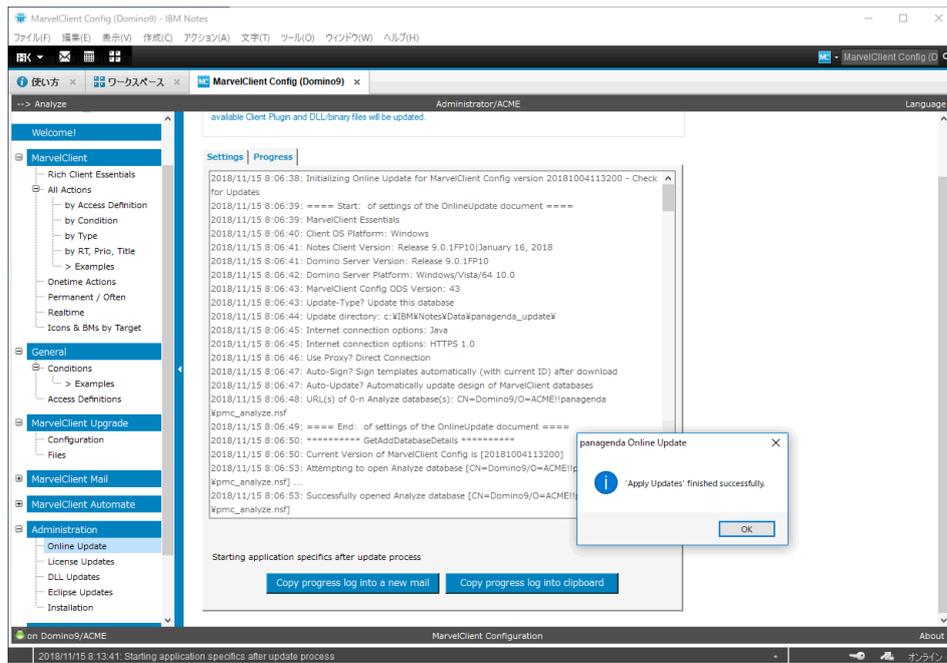
オンラインで MarvelCleint データベースの最新版を入手する手順を行います。これは機能追加やバグ修正が行われた現時点での最新版の入手や今後近日中にリリースされる日本語 UI の入手に必要ですので、定期的を確認/実施されることをお勧めします。

MC Config データベースを開き、次の画面ショットを参考にしながら
ビュー[Administration] – [Online Update] を開きます。



ライセンス許諾のチェックボックスにチェックし、「Check for Update」(更新の確認)ボタンを押してください。

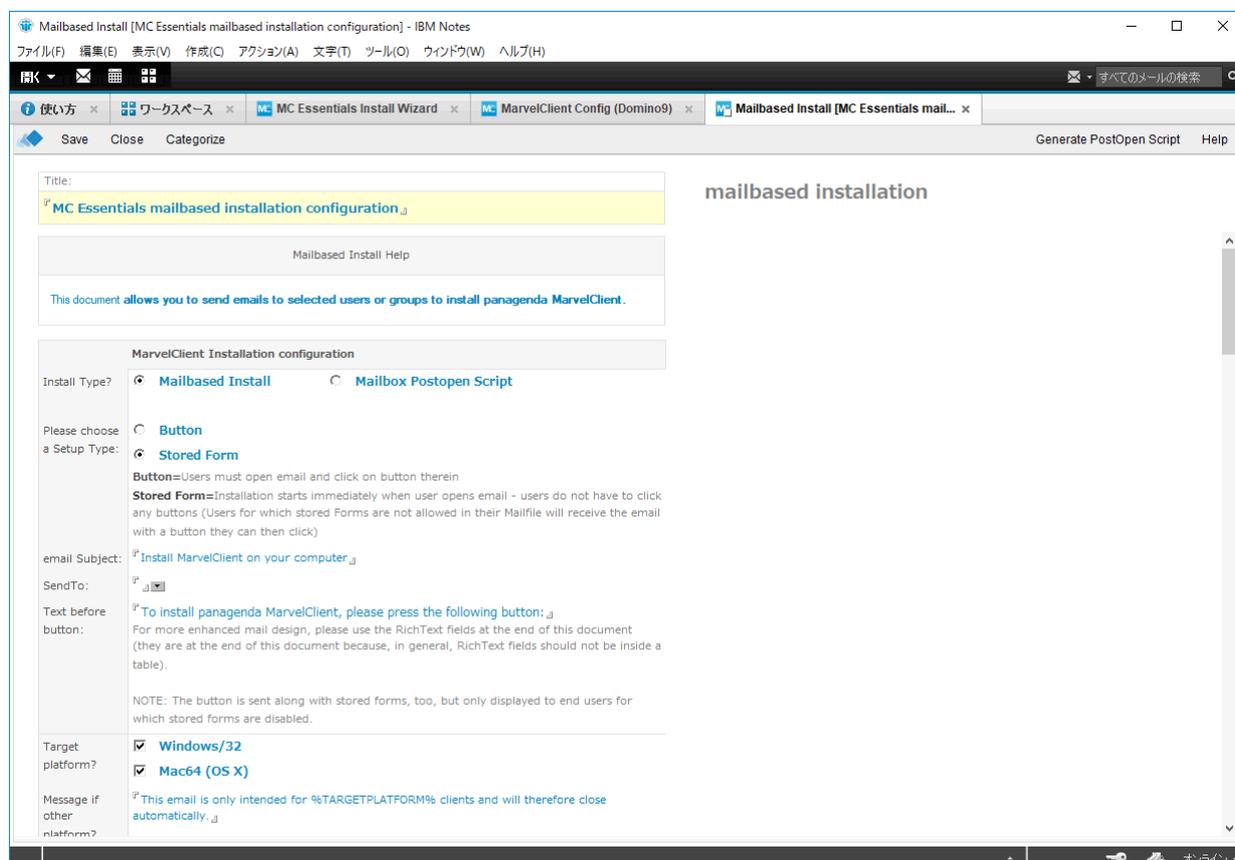




上記の画面ができれば、正常にオンライン更新が終了です。

MCE クライアントへのインストール

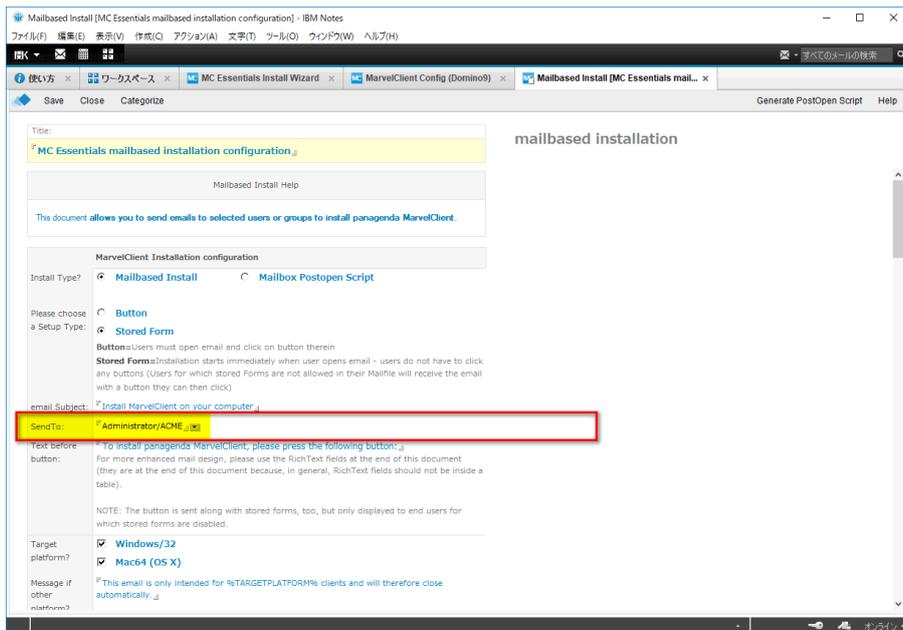
MC Config データベースのビュー [Administration] - [Installation]のビューにある文書を開きます。



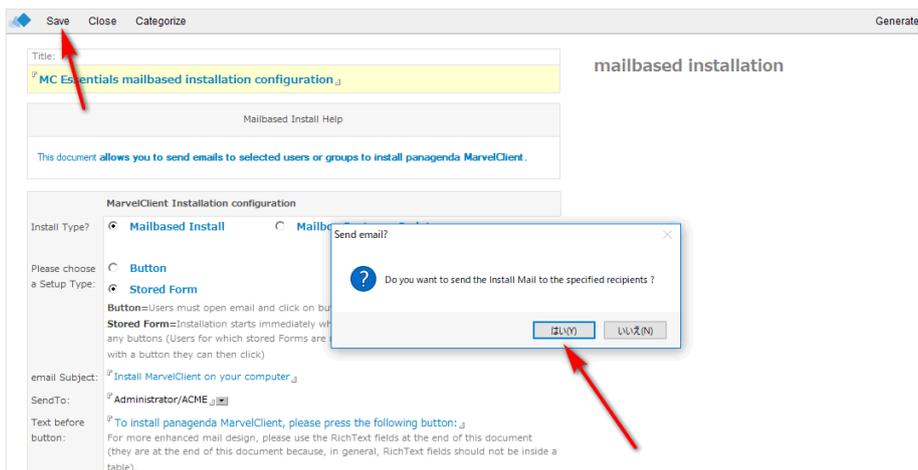
この文書で、エンドユーザーに MarvelClient のインストールを促すメールを配信できます。ここではメールベースでの Stored Form がデフォルトで指定されていますが、エンドユーザーがメールボックスに配信されたメールをハイライトするだけで自動的にインストールがバックグラウンドで行われます。インストール用のボタンがついたメールを送ることもできますが、この方法がエンドユーザーに負担無くインストールが行えるといえます。

その他、メールボックステンプレートの PostOpen イベントにインストール用の Script を貼り付けて、再設計ですべてのユーザーのメールボックスに配信し、ユーザーがメールボックスを開いた時にインストールを開始させることもオプションで選択可能です。メールがノーツメールでないときには、ユーザーが良く使用するデータベースの PostOpen イベントにコードを追加するなどの対応も可能です。

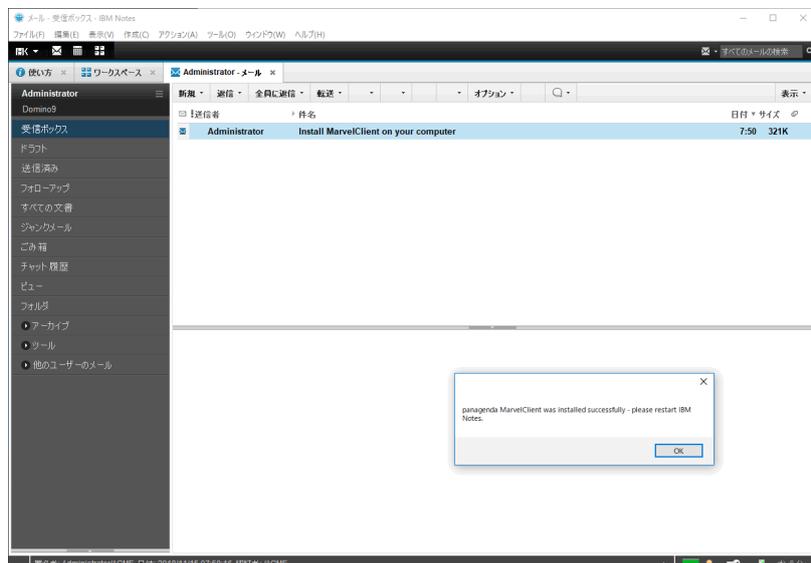
ハンズオンでは下図のように「Send To」フィールドにメール送信先を指定して文書を保存します。もしメールのタイトルなど日本語に直して送りたい場合は「email Subject」を、インストール完了のメッセージをカスタマイズしたい場合は「Message on Success」を日本語にして変更してください。



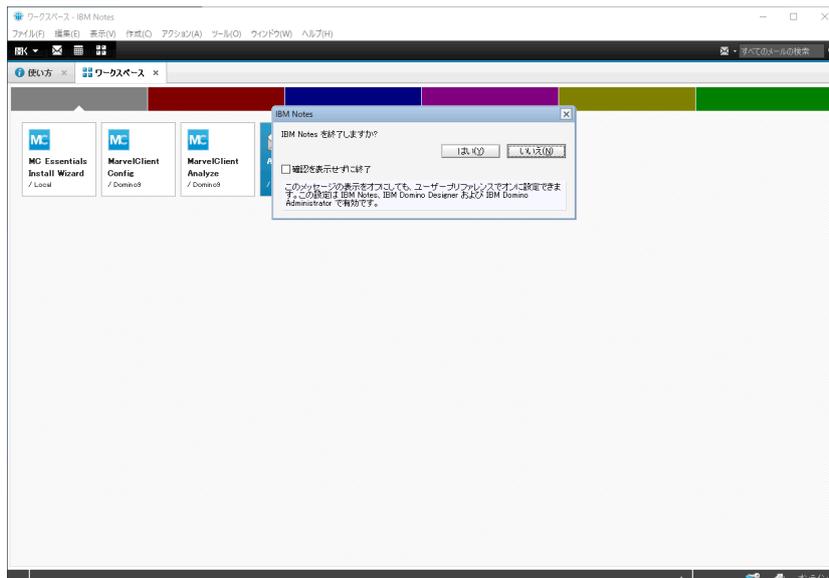
保存をすると下図のようにメールの送信を促すダイアログが表示されますので、「はい」を押して送信し、この文書を閉じてください。



次の図はユーザーが受け取ったメールになります。ほんの数秒でインストールは完了します。



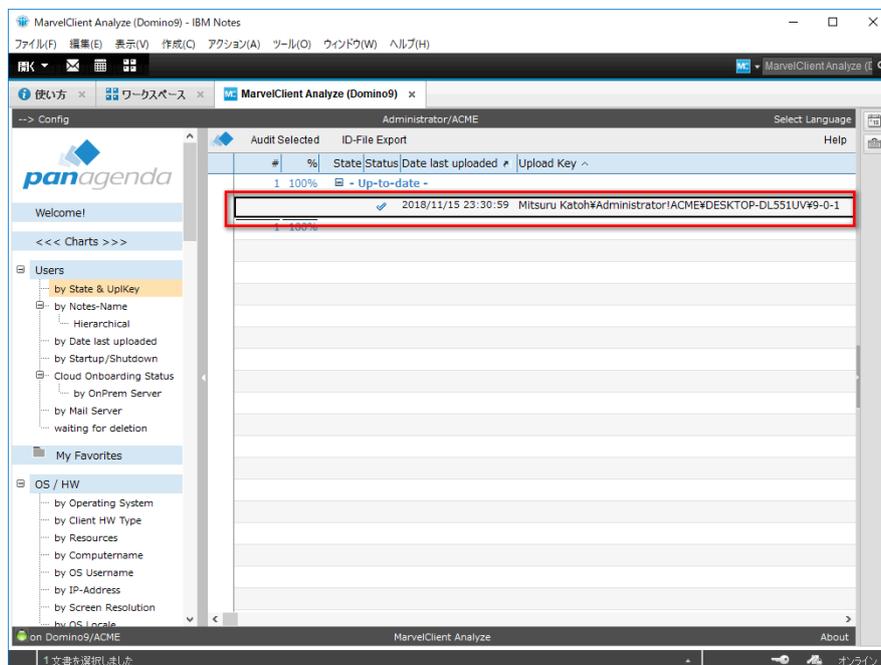
インストールが完了したら、Notes クライアントを再起動してください。



これでクライアント側へのインストールは完了です。

MCE Analyze データベース

エンドユーザーが Notes クライアントを再起動して使用し始めるとクライアントの情報を MC Analyze データベースにアップロードし始めます。ユーザーはクライアントの設定や notes.ini の内容を変更した都度、最新の情報が更新されていきます。



収集したクライアントの情報は、提供されているビューでいろいろな切り口で確認することができます。注意：短い時間内にノートクライアントに変更を加えその都度何度も再起動すると MC Analyze データベースで表示する内容がすぐに反映されない可能性があります。通常これはスケジュールエージェントで最新のものに更新する仕組みになっていますが、その間隔内で更新が実行されないからです。その代わりに、この Analyze データベースで手動で更新することもできます。下図のように情報を選択してアクションバー内の「Audit Selected」ボタンを押すと最新の状態で表示されます。

Notes クライアントの設定を変更してみる

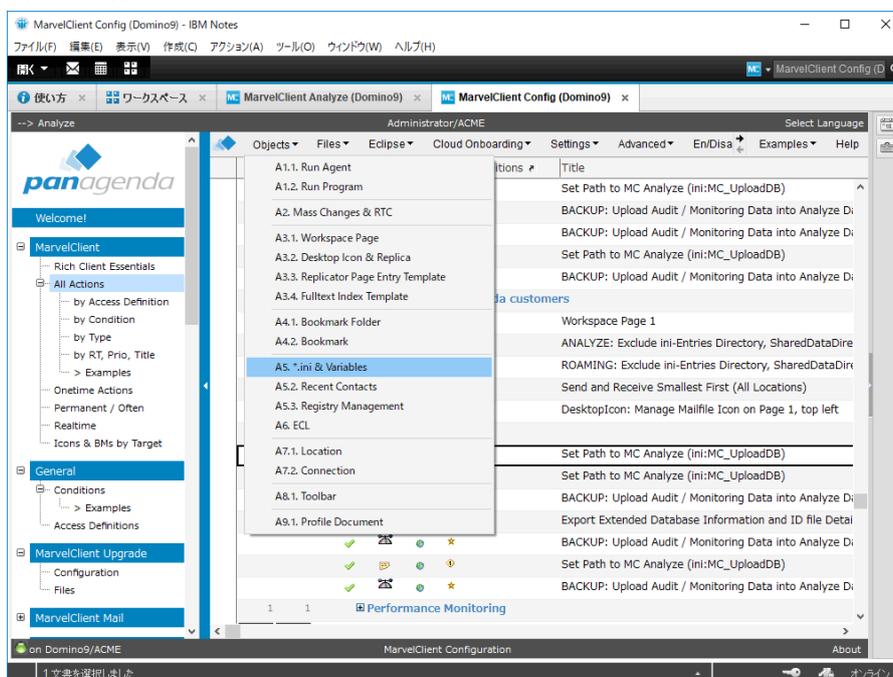
CME の無償版ではクライアント設定のすべての項目に対して変更できるわけではありませんが、notes.ini の設定は変更可能です。

そこで、今回はクライアントのデフォルトフォントをすべて「メイリオ」に変更してみたいと思います。

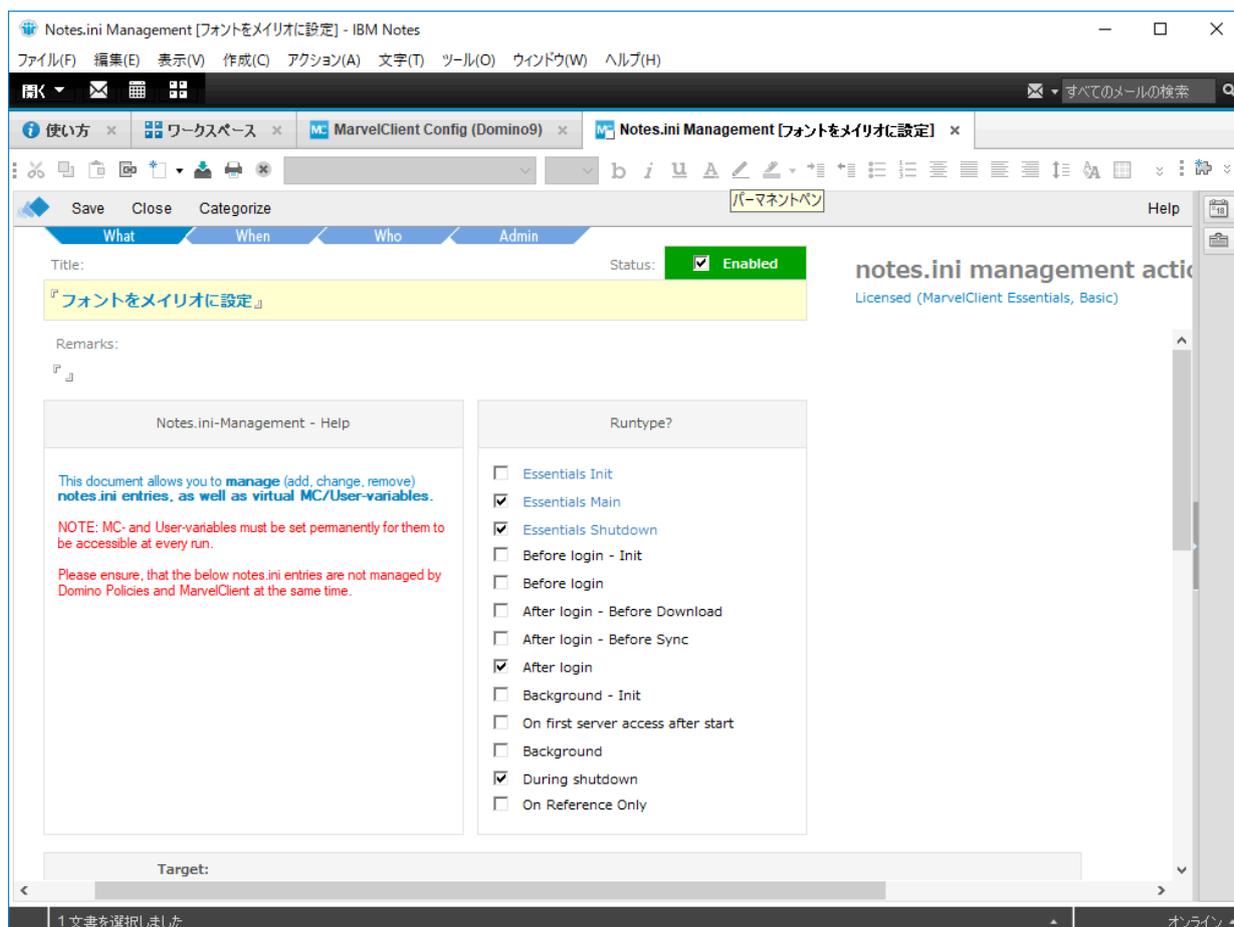
※デフォルトフォントの設定は通常 notes.ini 内に StaticFont0 から 3 までのエントリが変更されます

まず、MC Config データベースを開き、下図のように [All Actions]ビューを開きます。アクションとは、MarvelClient がクライアントに対して実行する機能のことです。

アクションバーの[Objects]ボタンから[A5 *.ini & Variables]を選択し notes.ini management アクションの作成を始めます。



まず、Title にここでは例えば「フォントをメイリオに設定」と入力し、RunType(実行タイプ)に下図のようにチェックを入れます。



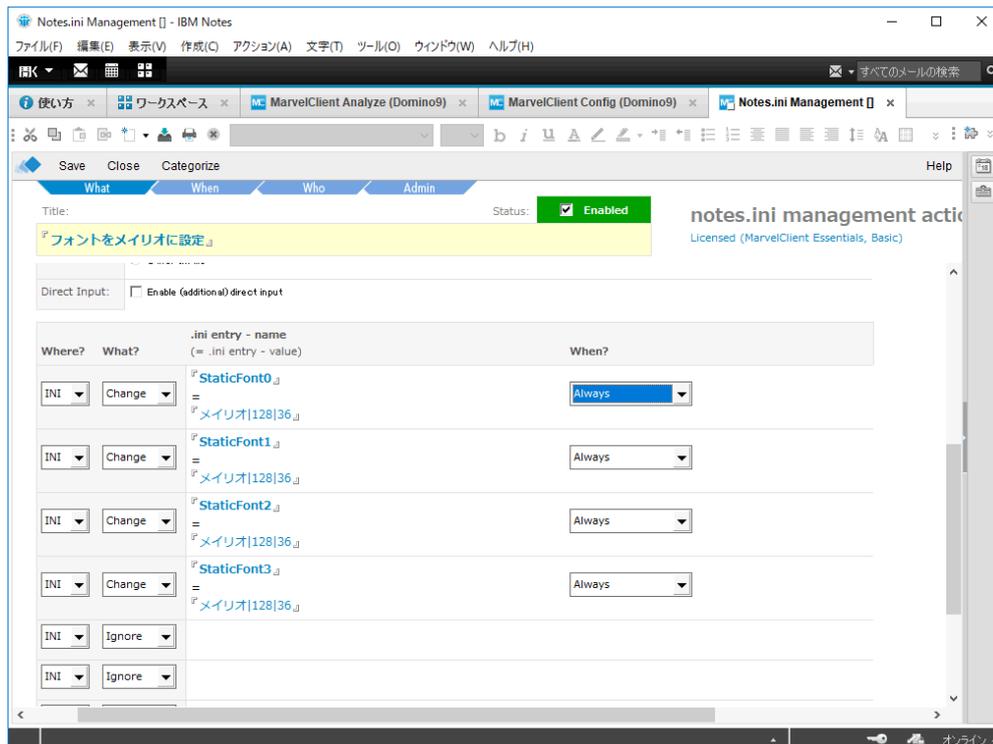
画面をスクロールし、フォント設定の ini のエントリー4つを下記のように追加する設定を行います。設定方法は下の図を参考にしてください。

StaticFont0=メイリオ|128|36

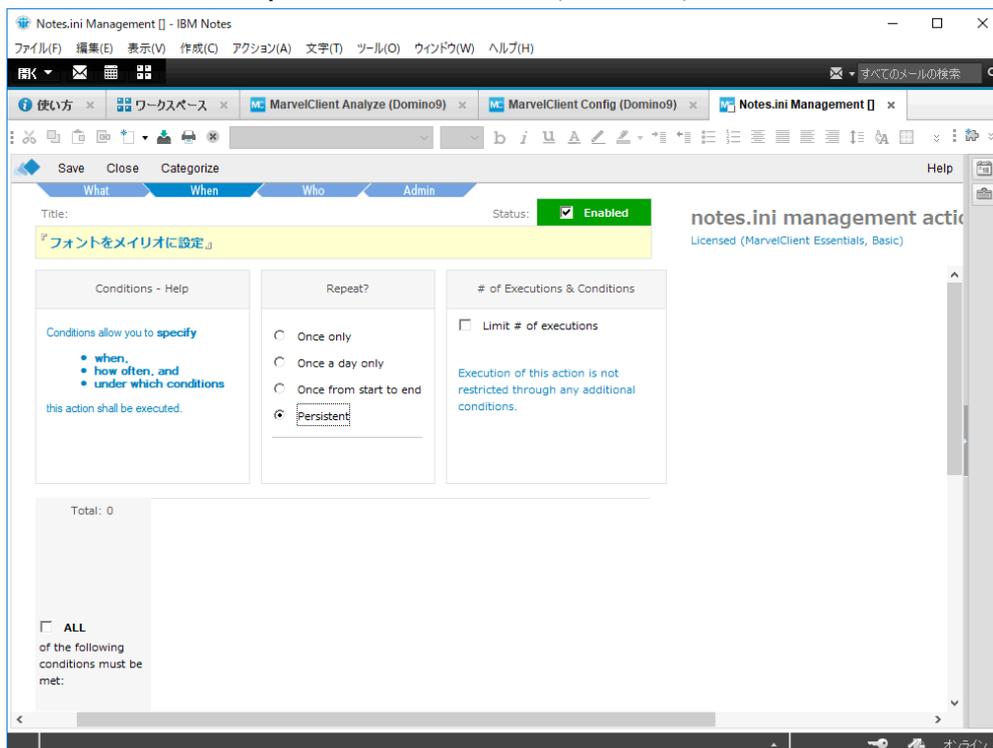
StaticFont1=メイリオ|128|36

StaticFont2=メイリオ|128|36

StaticFont3=メイリオ|128|36



次に When タブに移動し、Repeat? に Persistent (恒久的に)にチェックをいれます



文書を保存し、ノートクライアントを再起動します。このアクションでは、もう一度(2回目)再起動が必要です。再起動後のシャットダウン時に書き換えられた notes.ini を読み込み、フォントがメイリオになっているはずですが notes.ini も含めて確認してください。

ハンズオンは以上です。お疲れ様でした。